No.672

大阪市北区東天満 1-8-26 06-6351-3535

http://www.tenma-betsuin.jp 代表者 輪番・武宮 信勝

2020/11/1

ROKUJIJO



法要・行事予定

11月

4日	逹如上人御祥月御命日	(8時)
12日	12日 闡如上人御逮夜・常永代経	
13日	闡如上人御命日 兼日中	中 (8時)
24日	顕如上人御祥月御命日	(8時)
	『正信偈』書写の会	(10時)
	定例法話	(13時30分)
	乙部 大信師	(第3組 恩楽寺)
「コロナ禍の仏事で」		
27日	宗祖聖人御正忌御逮夜	(14時)
28日	宗祖聖人御正忌晨朝	(8時)
	宗祖聖人御正忌日中	(10時)

例年「御正忌報恩講」へ、団体参拝を致して おりましたが、今年度の団体参拝は中止となり ました。

12月

5日	同朋の会 (中止)	
12日	闡如上人御逮夜・常永代経	(14時
13日	闡如上人御命日 兼日中	(8時
19日	天満別院合唱団『みのり』	(中止)
24日	すす払い同朋の会 (1	3時30分
27日	宗祖聖人御命日御逮夜	(14時
28日	宗祖聖人御命日 兼日中	(8時

諸行事につきましては、感染状況をみて 判断致します。



今月の伝道掲示板 せていただきます。別院崇敬護持のため、

誰 か のため

でも

ħ

加藤

登紀子

そこに身をおいてこそ、

信心はより深まるの

動画では法要の雰

しみを持

みを持っ

生きら わ は

生きることは できる

形で不安もありましたが、法話の取止め、出仕者の制 ました。「座功徳」という仏教語があるように、 囲気(空気)は、 要に携わらせてもらって、 配信されるようになったりと、 ていただけるような工夫がされています。 ておりませんが、 かげで無事厳修されました。 今年の報恩講はコロナ禍ということで、 出仕者の制限等、 伝わらないとつくづく感じ 最近 SNS では、

皆様のご協力のお

例年にな

別院では導入し

法名 特別永代経志納 願人 敬信院釋尼妙 尾上 尾上 直司

寺町という歴史ある地域に 根ざした老舗葬儀社

大切に使わ

右記の通りご進納有難く

ご披露致します。

(株) 天満花重

〒 530-0041 大阪市北区天神橋 3-4-6 電話 (06)-6351-3875 FAX (06)-6351-6260

おかげさまで創業120余年

あなたの街の石やさん

本 社

TEL 06-6930-5075 FAX 06-6930-5078

親鸞忌759年の別院報恩講も、新型コロナ感染対策等を講じ、

厳粛の中、 何よりも尊く 崇敬寺院内の 円成しました。 団体参拝を見合わせたので、

いましたが、別院のご門徒が例年に増して参拝してくれたことが 有難いことでした。 参拝者数を心配して

勿体なや 袓 師は纸衣の九十 旬仏 (写真参照)

年の風雪を経て、 涯は、彰如上人にとって、「唯々かたじけなくも、 がボロボロになるまで苦悩された。さすれば、 更に申すならば真実信心のお念仏を私に届けんがために、 いただかれたのでありましょう。 第23代彰如上人 (1875) 祖師とは親鸞聖人、紙衣とは御苦労されたという意味ですが 別院境内の大きな石碑に今なお深く刻まれてい 1943年) 御染筆の句。 祖師の9年の御生 勿体なくも」

知之氏は語っていた。世に脚光を浴びてからの人生は、「志村けん」才コメディアンと評される彼の人生は、生涯「孤独」であったと兄、 志村けん(本名:康徳)は、 を演じる苦悩と背中合わせであったという。 報道され、 日で意識不明わずか1週間後に70才で命終。 最近『志村けんさんが教えてくれたこと』(講談社)を読んだ。 日本中の人が驚きを禁じ得なかった。 新型コロナウイ マスコミでも大きく ルスに感染、 昭和が育てた天

でいたいと思って S

る。

「志村流

死ぬまで「あいつはバカでどうしょうもない」

酔芙蓉と宗祖650年記念句碑 (明治4年4月)

生きざま」

って言われ続けたい。

人生はいつでも苦悩を抱え続ける、

いやその苦

る人々に「勿体なや」と偲ばれつつ、導深いものにしてくれている。そしてその

「変なおじさん」

〒536-0001 大阪市城東区古市1丁目23番20号

教区内輪番~御拝礼~





※ 報恩講を縁に、新たな仏弟子が誕生致しました。

輪番武宮信勝ご挨拶







(報恩講特集)如来大悲の恩徳は

身を粉にしても報ずべし、……骨を砕きても謝すべし。

報恩講とは、親鸞聖人をはじめ、お念仏の教えに生きられた先達を思いをいたし、その恩徳に報いる法要のことです。お念仏の教えを聴聞し、自らの生活を振り返る、一年でもっとも大切な御仏事として、全国各地の寺院・教会をはじめ、ご門徒の家々においても勤められています。

私ども、真宗門徒にとって、人々が寄り合い、お斎をいただくなど、共に ふれ合いつつ、聞法する場として、毎年欠かさず報恩講が厳修されています。 今年も「一人の念仏者の誕生」を願いつつ、例年とは異なる形とはなりま

今年も「一人の念仏者の誕生」を願いつつ、例年とは異なる形とはなりましたが、参詣の皆さんと共に厳修させていただきました。そのほんの一部ですが、写真を通してご報告いたします。







